

令和5年度
富山県原子力防災訓練
〔実施要領〕

危機管理局 防災・危機管理課



1. 訓練の目的等

- 県や氷見市等が策定した地域防災計画や避難計画等に基づき、原子力防災訓練を実施し、原子力災害に関する防災業務関係者の防災技能の向上と住民の防災意識の高揚を図るとともに、原子力災害の対応体制を検証する。

▶ 訓練の対象エリア（一時移転等）

氷見市北部沿岸部
（藪田地区、宇波地区、女良地区）

2. 実施日時

令和5年11月23日（木・祝） 7:00～14:00頃



3. 実施場所

図上訓練

本部において、訓練コントローラーを配置し、実災害を想定した状況付与に基づく演習を行います。

富山県防災危機管理センター

氷見市役所

志賀オフサイトセンター

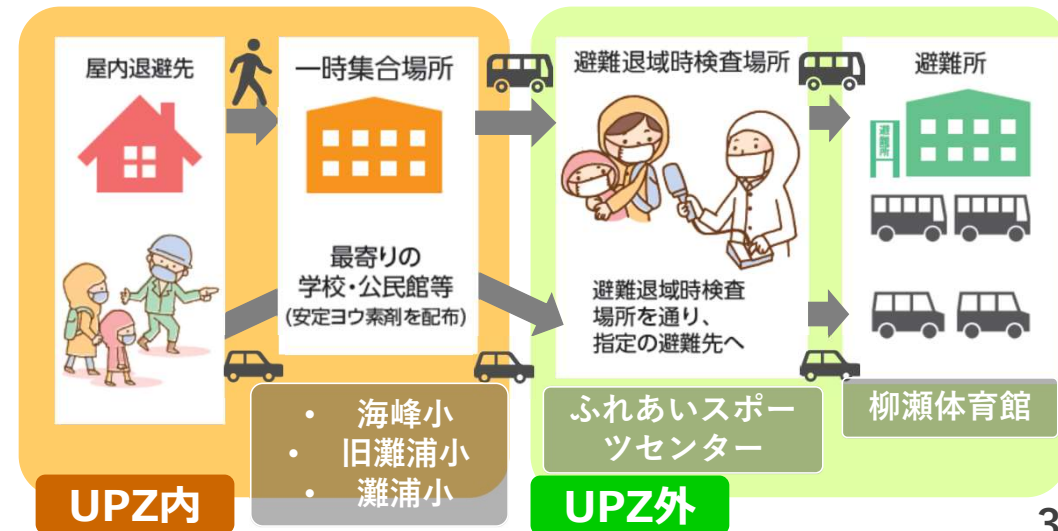


実動訓練

実際に、住民・防災関係者等が参加し、避難訓練等を実施します。

- 一時集合場所
氷見市立海峰小学校、旧灘浦小学校、灘浦小学校
- 避難退域時検査場所
氷見市ふれあいスポーツセンター
- 避難所
柳瀬体育館（砺波市）

実動訓練のイメージ



4. 訓練参加者・機関等

訓練参加者数

参加機関 **61**機関 (R4 : 54機関)

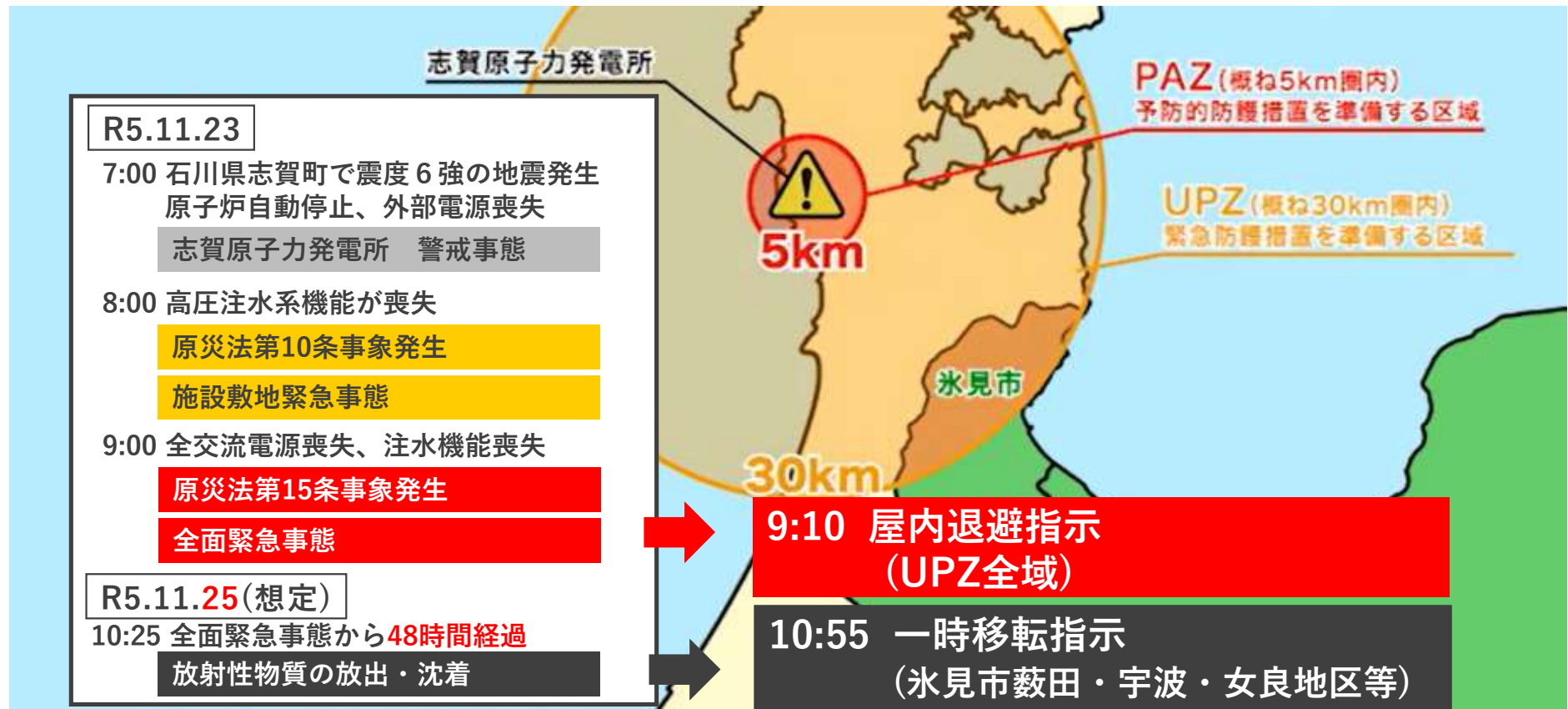
参加人数 約**600**人 (うち住民約 **200**人)

参加・協力機関

国関係	11機関	内閣府（原子力防災担当）、原子力規制庁、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第382施設中隊、自衛隊富山地方協力本部、海上自衛隊舞鶴地方総監部第3幕僚室、航空自衛隊第6航空隊、富山地方気象台、伏木海上保安部、中部管区警察局富山県情報通信部、富山河川国道事務所
県関係	2機関	富山県、富山県警察本部・氷見警察署
市町村関係	23機関	氷見市、砺波市その他県内13市町村、高岡市消防本部その他県内6機関、県西部消防指令センター
医療福祉 機関	11機関	富山県立中央病院、（公社）富山県医師会、（公社）富山県薬剤師会、（公社）富山県看護協会、（公社）富山県診療放射線技師会、富山大学附属病院、広島大学、特別養護老人ホームつまま園、特別養護老人ホーム氷見苑、介護老人保健施設エルダーヴィラ氷見、特別養護老人ホーム雨晴苑
その他 関係機関	14機関	北陸電力(株)、NHK富山放送局、北日本放送(株)、富山テレビ(株)、(株)チューリップテレビ、富山エフエム放送(株)、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、富山県防災士会、砺波市防災士連絡協議会、(株)ドコモビジネスソリューションズ北陸支社富山支店、（公社）富山県バス協会、富山県タクシー協会、平和交通(株)、(株)千代田テクノル

5. 訓練の想定

- 石川県志賀町で震度6強の地震が発生し、志賀原子力発電所2号機において、原子炉が自動停止するとともに外部電源を喪失。
- その後、非常用の炉心冷却装置による注水が不能となり、全面緊急事態となる。
- さらに、事態が進展し、放射性物質が放出され、その影響が発電所周辺地域に及ぶ。



6. その他

訓練外部評価の実施

- 図上訓練について、原子力防災に関する最新の知見を有する者による訓練評価を実施し、原子力防災体制や避難計画等の充実・強化に役立てる。

訓練の中止

県内等に災害が発生し、又は県内に警報が発表されるなどのおそれがある場合で、これらの対策を要するときは、訓練を中止する。

- **県内において震度5弱以上の地震**が発生又は富山県内の広範囲において**大雨警報、洪水警報、暴風警報、高潮警報及び津波警報並びに特別警報**が発表され、災害対策が必要と見込まれる場合
- 国内において大規模災害が発生し、県等の関係機関に応援要請の可能性が考えられる場合
- その他、中止することが必要であると判断される事象が生じた場合（県内において**Jアラートが配信**された場合など）

7. 主な訓練内容

訓練のポイント

1 氷見市ふれあいスポーツセンターで初めての避難退域時検査訓練

- 5つの避難退域時検査場所候補地のうち、唯一実施していなかった「氷見市ふれあいスポーツセンター」において、同訓練を実施
- 住民の自家用車での参加はこれまでで**最大規模の100台超**
- 業務手順や測定機器の使用方法を紹介した**動画を新たに作成**、マニュアルを「見える化」し、訓練参加要員の対応力を向上



要員向け避難退域時検査動画

2 デジタル技術を活用した住民広報・情報共有の促進

- Yahoo!防災速報アプリ**やリニューアルされた**氷見市公式LINE**等を活用し、住民に向けて、事故の進展に応じた避難等の詳細な情報を伝達
- 新たに開発した**避難者移動状況確認プログラム**により、一時集合場所から避難所までの**住民の避難状況を瞬時に関係機関で共有**

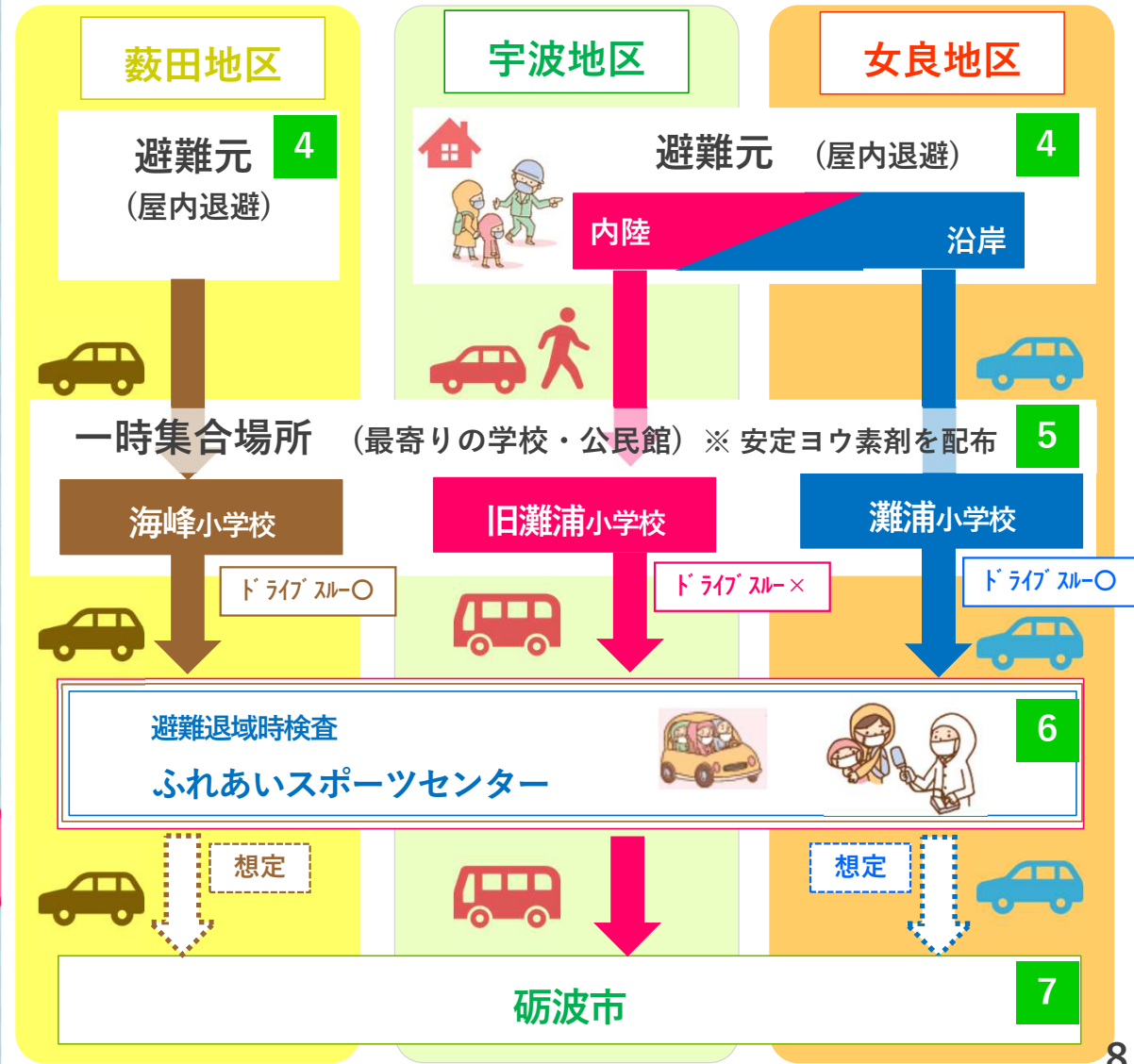
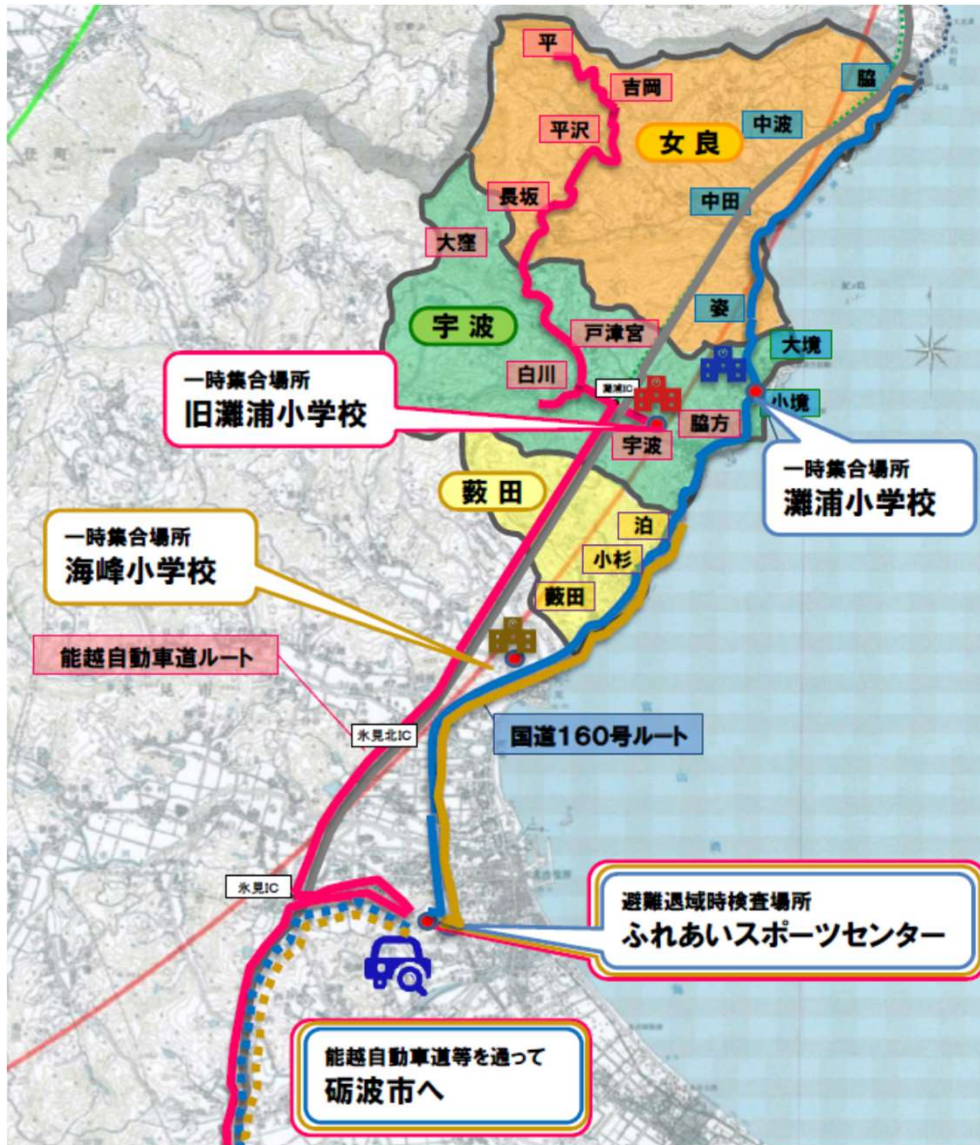


3 災害時応援協定に基づくバス・タクシーによる避難支援

- 応援協定に基づき、**県バス協会、県タクシー協会**から**バス・タクシー（福祉車両）**を一時集合場所や**社会福祉施設へ配車・運行**（締結：バス協会R5.4月、タクシー協会：R2.3月）
- UPZ（30km）内に入る前に、バス・タクシーは**原子力防災資機材（防護服・ポケット線量計等）**を受け取り、運転手は装着



主な訓練内容



1 災害対策本部等の設置運営訓練

（防災危機管理センター4階オペレーションルーム・5階大会議室、氷見市役所）

緊急時における国、県及び氷見市等の防災業務関係者の応急活動体制及び指揮系統の確立を図るため、災害対策本部等の設置運営訓練を実施する。

- 防災危機管理センターにおいて、大型マルチディスプレイや映像情報システム等の機能をフル活用した災害対策本部運営や本部員会議を開催
 - ・ 9:05～ 第1回災害対策本部員会議（UPZ屋内退避指示） ※ 知事出席
 - ・ 10:55～ 第2回災害対策本部員会議（UPZ一部地区（氷見市藪田・宇波・女良地区）一時移転指示）
- コントローラーを配置し、様々な状況付与に基づく実災害を想定した図上演習
- TV会議システム等による国や志賀OFC、氷見市等との情報共有
- 映像伝送システムにより、オペレーションルームや本部員会議の状況を氷見市とリアルタイムで共有



8:00～14:00

2 県現地災害対策本部・志賀オフサイトセンターの設置運営訓練

（志賀オフサイトセンター）

県、氷見市、石川県、国、防災関係機関及び原子力事業者等が志賀オフサイトセンターに参集し、実際に状況判断を行いながら、緊急事態対応を確認する。

- 志賀オフサイトセンターへ副知事を派遣し、県現地災害対策本部を運営
- 同センターに設置される合同対策協議会等の参画による国の各機能班員としての活動を通じた志賀オフサイトセンターの運営



3 緊急時通信連絡訓練

7:00～12:00

（志賀オフサイトセンター、防災危機管理センターなど）

原子力事業者や国、県内市町村等の防災関係機関に対して、非常時の情報伝達が確実かつ迅速に行われるよう、通信連絡訓練を実施する。

- 北陸電力からの通報や国の避難指示等を氷見市をはじめ県内各市町村・消防本部等に伝達

4 住民の屋内退避、一時移転訓練

（氷見市内）

緊急時における対応を円滑に実施するため、地域住民の参加のもと、住民の屋内退避、一時移転訓練を実施する。

① 屋内退避訓練

9:00～9:30

- 氷見市内UPZ全域を対象とした屋内退避訓練（窓等の閉鎖、情報の収集、必要物資の確保）を実施

- 新** Yahoo!防災速報アプリやリニューアルされた氷見市公式LINEを活用した住民広報により、詳細な屋内退避の実施方法を周知
⇒ 屋内退避指示の連絡とあわせて、その実施方法を示した動画等をスマホに配信



② 一時移転訓練

9:00～12:30

- 藪田、宇波、女良地区を対象とした一時移転訓練（詳細は **5** ～ **7**）

- 新** 県バス協会に要請し、移動手段を持たない住民へバスを配車・運行UPZ（30km）内に入る前に、バス・タクシー運転手に原子力防災資機材（防護服・ポケット線量計等）を受け渡し、運転手は装着
・ 8:30～ ふれあいスポーツセンター正面駐車場において受け渡し予定



- 拡** 映像伝送装置により、遠隔地（県及び氷見市災害対策本部）へ、正確な一時移転訓練の実施状況等を報告

5 一時集合場所参集・安定ヨウ素剤緊急配布訓練

（旧灘浦小学校、灘浦小学校、海峰小学校）

原子力災害時に住民が参集する一時集合場所を開設・運営するとともに、安定ヨウ素剤の配布の指示がなされた場合に、住民に適切に配布されるよう訓練を行う。

旧灘浦小学校

- 宇波・女良地区の**内陸部**の住民は、避難計画に基づき、**旧灘浦小学校**に集合
- 安定ヨウ素剤を、（公社）県医師会及び（公社）県薬剤師会の協力の下、**一時集合場所で説明及び配布（集合配布）**

新

- 市は、灘浦小で保管している**薬品保管庫**から、**安定ヨウ素剤を搬出**

氷見市立灘浦小学校、海峰小学校

- 宇波・女良地区の**沿岸部**の住民は、避難計画に基づき、**灘浦小学校**に集合
藪田地区の住民は、同様に**海峰小学校**に集合
- 円滑な避難の実施のため、住民は、**自家用車から降りずに**、安定ヨウ素剤の配布を受ける（**ドライブスルー配布**）

安定ヨウ素剤

体内への放射性ヨウ素の
取込みを低減



9:30～12:00

6 避難退域時検査の実施訓練

（氷見市ふれあいスポーツセンター）

一時移転の対象となった住民や車両等の汚染状況を確認するための避難退域時検査を適切に実施できるよう訓練を行う。

- 新** ・ 氷見市ふれあいスポーツセンターにおいて、初めて避難退域時検査を実施（同所で実施することで、県内の全検査会場候補地での訓練が完了）

知事視察時間 11:05～12:00頃

【車両検査】（ふれあいスポーツセンター第一駐車場）

- 避難者が乗車する自家用車・バスをゲート型モニタ等で測定し、基準値を超過した自家用車・バスには、簡易除染を実施

【住民検査】（同センター サブアリーナ）

- 避難者の体をサーベイメータで測定し、基準値を超過した場合は、脱衣や拭き取りによる簡易除染を実施
- 住民の自家用車での参加はこれまでで**最大規模の100台超**

- 新** ・ 訓練参加要員向けに、避難退域時検査における**業務手順から測定機器の使用方法**までを実演した**動画を新たに作成、マニュアルを見える化し、要員の対応力を向上**



7 避難所開設・運営訓練

11:20～12:30

（柳瀬体育館）

緊急時における住民の避難受入れを円滑に実施するため、関係機関が連携し、避難所の設置・運営の訓練を実施する。

- 拡** 県防災士会による自主的な避難所の運営に係る避難住民向け防災講演会「**多様性に配慮した避難所運営について**」の開催
- 原子力防災に関するパネル展示
- 段ボール間仕切り及び段ボールベッド等の組立て・設置
- 新** 新たに開発した**避難者移動状況確認プログラム**により、一時集合場所から避難所までの**住民の避難状況を瞬時に関係機関で共有**



8 緊急時モニタリング訓練

7:30～13:30

（県環境科学センター、氷見市内、志賀OFC）

「緊急時モニタリング」について、関係職員の配備、関係機関との情報連絡及び測定技術等の習熟を図るため訓練を実施する。

- 緊急時モニタリングセンターに職員を派遣し、国の指揮の下、モニタリングポストやモニタリングカーによる空間放射線量率の測定等を実施

9 住民等に対する広報訓練

8:50～12:00

（氷見市内）

県・氷見市は、インターネットや防災行政無線、広報車等により、住民に対して正確な情報を円滑に提供できるよう広報活動訓練を実施する。

- ・ 防災行政無線や広報車等により情報を伝達

新・ **Yahoo!防災速報アプリ**及び**氷見市公式LINE**を活用した段階的かつ詳細な住民広報
⇒屋内退避の実施方法を示した動画や一時移転先等の詳細な情報を含めてスマホに配信（**再掲**）

新・ 氷見市内の**道路情報板**に「**原子力防災訓練実施中**」を**表示**

10 交通誘導・警戒準備訓練

8:45～12:00

（氷見市内）

富山県警察は、避難車両を避難所まで先導するとともに、避難経路の要所で交通規制を実施する。また、避難対象区域内の警戒による治安確保を実施する。

- ・ 一時集合場所から警察車両の先導による避難車両誘導
- ・ 一時集合場所周辺における警戒の実施
- ・ 避難退域時検査場所の周辺道路等、混雑が予想される交差点での交通規制
- ・ 県防災危機管理センター、県警、氷見警察署を結んだ映像伝送訓練



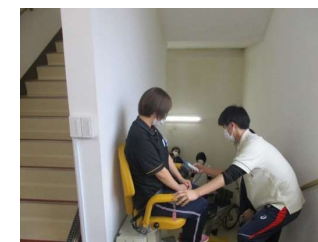
9:00～11:30

11 社会福祉施設における屋内退避・一時移転訓練

（特別養護老人ホーム氷見苑、特別養護老人ホームつまま園、介護老人保健施設エルダーヴィラ氷見、特別養護老人ホーム雨晴苑）

UPZ内の社会福祉施設において、屋内退避指示を受けて、入所者の屋内退避及び一時移転訓練を行い、放射線防護対策の習熟を図る。

- 拡** • 社会福祉施設（特別養護老人ホーム氷見苑）における一時移転訓練を再開（避難先：特別養護老人ホーム雨晴苑）
- 拡** • 社会福祉施設（特別養護老人ホームつまま園、介護老人保健施設エルダーヴィラ氷見）において、屋内退避訓練を実施
- 新** • 県タクシー協会に要請し、氷見苑へ福祉車両の配車を要請・運行（ふれあいスポーツセンターで原子力防災資機材を受け渡し）



12 被ばく医療措置訓練

9:00～12:00

（富山大学附属病院）

原子力災害拠点病院における原子力災害医療派遣チームとの合同診療訓練を実施する。

- 負傷し汚染した可能性のある住民への被ばく医療措置を実施